

ユニバーサル社会  
「基本法」趣旨発表

「ユニバーサル社会の実現を目指すシンポジウム」(主催)読売新聞東京本社、社会福祉法人アロップ・ステーション)が24日、都内で開かれ、与党が制定を目指している「ユニバーサル社会基本法」の趣旨が発表された。

福田首相は、冒頭のビデオメッセージで、「女性、高齢者、障害者が持てる力を発揮できるよう、全員参加型社会に変わっていく必要がある」と、基本理念や、国や自治体の責務を定めた基本法制定の意義を強調。これに対して、民主党の鳩山幹事長は、「基本法については民主党も同じ考え方。大いに協力したい」と述べた。